

雇用の事例『入社から2年で社長に』

栃木県の(株)アズでは、親族関係にない農外出身者が代表取締役役に就任しました。新社長は、入社して2年目の中山拓也さん(30)。入社するまで農業経験のなかった若者が社長になった経過等を紹介します。

◆入社時

- ・知り合い経由の入社
- ・入社後、「農の雇用事業」を利用（1年間のOJT研修を実施）

◆OJT研修では

- ・研修範囲は、栽培管理から出荷、販売、経営管理までの同社の事業全般
- その中で、次の帝王学を伝える
- ①目標でなく夢を語ること
 - ②簿記や生産原価の計数管理の徹底
 - ③日報などの書類作成を疎かにしない
 - ④豊かな感性と生産者の誇りをもつこと

◆飯野会長（前社長で創業者）の経営方針

- ・労務コスト（収入にみる人件費率は、現在34%（25%までに抑えたいが、優秀な人材確保のためには必要なコストと認識）
- ・従業員とのコミュニケーションのほか、昇給や賞与を重視
- ・これまでに従業員から4人が独立し、地域の農業を担う

◆中山新社長の労務管理の抱負

- ・従業員が生き生きと仕事できる環境を作る
- ・従業員と近い距離間を保つ
- ・従業員の家族にまで責任を持つ
- ・他産業並みの労働条件とする

「農業は数ある産業の中の一部門、忙しく休みが自由に取れないというイメージを壊したい」

◆事務局便り◆

高齢化が指摘される農業ですが、一方で若手経営者も多く誕生しています。入社直後から、「将来は経営に加わりたい。農業をもっと活性化したい」と希望していた中山さんは、第一の夢を叶えました。従業員を大切に、農業を活性化していくのが楽しみです。



飯野会長（右）から研修を受ける中山さん（入社当時）

株式会社アズの概要

【所在地】栃木県宇都宮市上横田町

【経営内容】洋ラン栽培・販売（カトレヤ 2500坪・年間23万輪、コチョウラン 2500坪・年間10万鉢）で年間約2億円の売上げ

【法人化】1981年（株式会社化は88年）

【従業員】正社員4人、パートタイマー16人

【その他】敷地内に直売所（200坪）

これらがいい花の生産につながる
と考えている